

〈 セミナーのご案内 〉

● 今回配布先を限定しておりますので、関係各位へのご閲覧につき、ご高配をお願いいたします。

回 覧

| | | | | |
|--|--|--|--|--|
| | | | | |
|--|--|--|--|--|

高等教育活性化シリーズ 212 (通算 529 回)

2012 年 6 月 11 日 (月)

高校の今とこれから——知っていますか?——

※開催延期

変わる高校教育と高校生～その実相と行動

高等教育活性化シリーズ 214 (通算 531 回)

2012 年 6 月 15 日 (金)

学ぶ力の土壌となる日常的空間を——

※開催

“学士力”育成の場としての新・学生寮生活Ⅳ

高校の今とこれから——知っていますか?——

変わる高校教育と高校生～その実相と行動

～大学の広報・入試・教学担当へのメッセージ～

- ※ 高校教育の改革状況／質保証に向けた再構築／中教審・高校部会審議の論点整理／私的提言
- ※ 新学習指導要領の背景と要点／多様な高校教育の何が変わる／指導要録と学修評価の改善／今後
- ※ 多忙な高校現場／高校別にみる進路指導／高校生と大学受験／高大連携とその可能性
- ※ 私学の個性ある教育理念と多彩な展開／私学育ちの強みと弱み／テスト文化革新

● 講師陣 ●

- 安彦 忠彦 氏 / 神奈川大学 特別招聘教授
中教審委員・初等中等教育分科会副分科会長・高等学校教育部会部会長代理
- 工藤 文三 氏 / 国立教育政策研究所 初等中等教育研究部部長
- 大谷 奨 氏 / (国) 筑波大学人間系教育学域 准教授 アドミッションセンター担当
- 清水 哲雄 氏 / 東京私立中学高等学校協会副会長、東京私学教育研究所長
(学) 鷗友学園常務理事

2012 年 6 月 11 日 (月) 剛堂会館 (明治薬科大学) 会議室 (東京・麹町)

学ぶ力の土壌となる日常的空間を——

“学士力”育成の場としての新・学生寮生活Ⅳ

～自主学習・社会性・異文化交流あるライフスタイルの習得と実際～

- ※ グローバル時代の留学生受入れ施策の展開／留学生の街構想／留学生地域交流センター
- ※ 日本学生と外国学生の混住・国際寮化／寮生交流の実際／人財とソフト
- ※ [秀明大] 教師養成の 4 年間全寮制～1 年生送り出して／豊かな人間力と実践的指導力の育成
- ※ [福岡女子大] 大学改革～1 年次全寮制／4DK 型の「国際学友寮なでしこ」／寮生活の実際

● 講師陣 ●

- 阿部 仁 氏 / (国) 一橋大学 国際教育センター 准教授、留学生・海外留学相談室 室長
- 森 邦昭 氏 / (公) 福岡女子大学 国際文理学部教授、寮運営部会長
- 水畑 順作 氏 / 文部科学省高等教育局学生・留学生課 留学生交流専門官 (併) 課長補佐
- 近藤 公一 氏 / 秀明大学 学校教師学部長

2012 年 6 月 15 日 (金) 剛堂会館 (明治薬科大学) 会議室 (東京・麹町)



[参加要領]

日時 : 高等教育活性化シリーズ 212 変わる高校教育と高校生～その実相と行動
 2012年6月11日(月) 9:40~16:40
 高等教育活性化シリーズ 214 “学士力”育成の場としての新・学生寮生活Ⅳ
 2012年6月15日(金) 10:00~16:50
 会場 : 剛堂会館(明治薬科大学) 会議室(東京・麹町) ※両日程、同会場です
 千代田区紀尾井町3-27 TEL 03-3234-7362
 (東京メトロ有楽町線「麹町駅」1番出口より徒歩4分、またはJR中央・総武線「四ツ谷駅」麹町口より徒歩10分)

| 参加費 | ご一名 (資料代を含む) | メディア参加 (資料及び音声CD送付) |
|--|-------------------|------------------------|
| 高等教育活性化シリーズ 212 変わる高校教育と高校生～その実相と行動 | 42,000円 (消費税込) | 43,000円(送料、消費税込) |
| 高等教育活性化シリーズ 214 “学士力”育成の場としての新・学生寮生活Ⅳ | 41,000円 (消費税込) | 42,000円(送料、消費税込) |

※参加費の払い戻しは致しません。申込者のご都合が悪いときには、代理の方がご出席ください。

申込方法 : 参加申込書に所要事項を記入のうえ FAX または Email にてご送付ください。
 受講証と会場地図を送付しますので必ずご確認ください。

支払方法 : 銀行振込・郵便振替・当日払いがあります。
 みずほ銀行麹町支店 普通 1159880 三菱東京UFJ銀行神田支店 普通 5829767
 三井住友銀行麹町支店 普通 7411658 *郵便振替: 00110-8-81660
 口座名 (株)地域科学研究会
 (ご請求なき場合は振込受領書を領収書に代えさせていただきます)

インターネットでのご案内は⇒<http://www.chiikikagaku-k.co.jp/kkj/> E-mail: kkj@chiikikagaku-k.co.jp

お申込み・お問合せ



地域科学研究会
 高等教育情報センター

東京都千代田区一番町6-4 ライオンズ第2-106
 TEL 03(3234)1231 FAX 03(3234)4993

キリトリ線(※参加申込みの折は必ずお送りください)

研修会参加申込書

2012年 月 日

- 高等教育活性化シリーズ 212 変わる高校教育と高校生～その実相と行動
 当日参加 メディア参加
 ■ 高等教育活性化シリーズ 214 “学士力”育成の場としての新・学生寮生活Ⅳ
 当日参加 メディア参加 (□に✓印を入れてください)

勤務先 _____

所在地 〒 _____

連絡部課・担当者名 _____

TEL _____ FAX _____

メールアドレス _____

| 参加者氏名 | 所属部課役職名 | メールアドレス |
|-------|---------|---------|
| | | |
| | | |
| | | |

(通信欄) 支払方法(□郵便振替 □当日払い □銀行振込) 必要書類(□請求書 □見積書)

※この個人情報は、本セミナーの一連の業務及び今後のご案内に使用させていただきます。

| 時間 | 講義項目 |
|---------------------|---|
| 9:40 ～ 11:00 | <p>□ 高校教育の改革状況と質保証に向けた再構築 ～中教審・高校教育部会の論点整理と提言～</p> <p style="text-align: right;">神奈川大学 安彦 忠彦</p> <p>はじめに～高校教育についての現状認識：中教審と早稲田大学での個人的経験から</p> <p>1. 中教審・高校教育部会の議論：論点整理 (1) 文科省の現状認識と改善方策の方向 (2) 現実追従主義についての問題 (3) 現行制度をどう見るか</p> <p>2. 高校教育の「質保証」とは： (1) 高校教育の質の問題 (2) 高校教育の目的・目標の見直し</p> <p>3. 高校教育改革への提言：「望ましい質保証」に向けて (1) 制度：6-3-3 制の再検討=6 年制中高一貫校や 4-4-4 制学校体系の試みの出現 (2) 教育目的・目標と教育課程：「自立」と「個性」が中等教育のキーワード (3) 教員：学力形成と人格形成の両面に責任を持ち、生徒の最大限の個性的成長を促進する能力と積極的意志をもつ教師=楽をしようとしない、生徒のモデルとなる教師</p> <p>おわりに～高校教育を「個性的自立」に向けて組み立て、実現する強い意志が、すべての大人に必要な (質疑応答)</p> |
| 11:10 ～ 12:40 | <p>□ 新学習指導要領の要点と指導要録・学習評価の改善</p> <p style="text-align: right;">国立教育政策研究所 工藤 文三</p> <p>1. 学習指導要領改訂の背景 (1) 国際的な動き、諸調査の結果 (2) 学校段階間の接続の改善 (3) 多様化、特色化後の高校教育の在り方 (4) 教育の質の向上 (5) その他</p> <p>2. 学習指導要領の改訂の要点 (1) 学力観、学習指導観 (2) 教科・科目等の構成 (3) 各教科・科目等に共通した改善事項 (4) 履修の方法 (5) 授業時数 (6) 単位の修得と卒業要件 (7) その他</p> <p>3. 指導要録と学習評価の改善 (1) 指導要録の改善 ア) 目標に準拠した評価の着実な実施 イ) 新学習指導要領の趣旨の反映 ウ) 学校や設置者の工夫を生かす エ) 評価の観点の改善 (2) 学習評価の改善 ア) 指導と評価の一体化の視点 イ) 評価規準、評価方法の工夫改善の必要 ウ) 評価の妥当性、信頼性を高める</p> <p>4. 今後における高校教育の課題と展望 (質疑応答)</p> |
| 13:40 ～ 15:10 | <p>□ 高校現場にみる進路指導と高校生の選択行動 ～生徒の学び・経験を伸ばす“教育接続”への期待～</p> <p style="text-align: right;">筑波大学 大谷 奨</p> <p>1. 多忙の中の高等学校 (1) 校務分掌・主任制一学校経営の仕組みを知る (2) 「舞姫」と「こころ」が教科書から消えないわけ—授業で生徒と向き合いたい (3) 教育実習生というメディア—教職課程を大切にせよ</p> <p>2. 高校別に見る進路指導の状況 (1) 進学校の進路指導—学力重視の中でのジレンマ (2) 進路多様校の進路指導—新制高校の原風景 (3) 専門高校の進路指導—問われる進路指導部の力量</p> <p>3. 高校生と大学受験 (1) 高校生から受験生へ、受験生から大学生へ—加熱と冷却 (2) 「受験は団体戦」の拘束力—母校の誇り (3) なぜ進学校はA.O. —推薦に及び腰なのか—コントロールできない不安</p> <p>4. 高大連携とその可能性 (1) 大学は適任者を派遣しているか—大学説明会・大学研究会・系統別説明会… (2) 戦前の高大接続—その柔軟性 (3) 累積的学習という発想—補習から補償へ (質疑応答)</p> |
| 15:20 ～ 16:40 | <p>□ 私立学校の個性ある教育理念・方針と多彩な展開 ～私学育ちの魅力・強みと弱みとは／大学への期待～</p> <p style="text-align: right;">東京私立中学高等学校協会 清水 哲雄</p> <p>1. 私立は公立の補完校？ (1) 公・私の違いは (2) 教育理念の現在化を目指す私学 (3) 二焦点一元論 (4) 母校は母港</p> <p>2. 学力の捉え (1) 学力の三層構造 (2) 表現とモチベーション (3) これが医学部に必要とされる力か</p> <p>3. テスト文化を変えよう (1) 集団準拠型のままでいいのか (2) 学校間連携・接続の重要性</p> <p>4. 私学の授業料は高い？ (質疑応答)</p> |

| 時間 | 講義項目 |
|----------------|--|
| 10:00 11:30 | <p>□ [一橋大] 留学生宿舎から真の国際学生寮へ ～日本人と外国人の混住化のケーススタディを踏まえて～ 一橋大学 阿部 仁</p> <p>1. 小平国際学生宿舎の歴史 (1) 沿革 (2) 発足当時の居住形態 (3) 分断された学生寮組織</p> <p>2. 混住寮移行に至る経緯 (1) 居室タイプとフロアプラン (2) 日本人寮と留学生寮の関係 (3) ライフステージを核とした混住環境作り (4) 混住化にむけた移行計画 (5) 学寮再編成に伴う生みの苦しみ</p> <p>3. 混住環境における寮生交流の実際 (1) 交流イベントは本当に寮生交流に寄与したか? (2) なぜ、日本人1,2年生寮は混住に抵抗したのか? (3) 学生たちは生活環境における寮生交流をどう評価したか?</p> <p>4. 国際学生寮への途～振り返りと喫緊の課題 (1) 混住化は「諸刃の剣」 (2) 混住環境をプラス方向へ導き出す</p> <p>5. 国際学生寮の将来を見据えて (1) 国際学生寮の指針となるビジョン (2) プロジェクト体制で結ばれるトップと現場 (3)ハウジング統括組織の必要性 (質疑応答)</p> |
| 11:40 13:00 | <p>□ [福岡女子大] 新構想による1年次全寮制の導入と展開 ～4DK型の「国際学友寮なでしこ」における学生の自主的活動～ 福岡女子大学 森 邦昭</p> <p>1. 福岡女子大学の概要 (1) 大学改革のコンセプト (2) 国際文理学部(新学部)の特色</p> <p>2. 教育の場としての学生寮 (1) 学生寮の目的 (2) 学生寮の管理運営体制</p> <p>3. 学生寮の生活 (1) 年間スケジュール (2) なでしこタイム (3) イングリッシュ・デイ (4) 共用施設 (5) アルバイト (6) ボランティア活動 (7) 寮生活支援調査 (8) 入寮オリエンテーション</p> <p>4. 寮紹介ビデオ (1) 施設紹介(3分32秒) (2) 寮生へのインタビュー(5分5秒) (質疑応答)</p> |
| 14:00 15:00 | <p>□ グローカル時代の留学生受け入れ施策の展開 ～「留学生の街」構想と「留学生地域交流センター」の役割～ 文部科学省 水畑 順作</p> <p style="text-align: center;"> [講義項目は、作成次第小会HPにアップいたします。 http://chiikikagaku-k.co.jp/kkj/] </p> |
| 15:10 16:50 | <p>□ [秀明大] 「優れた教師」養成の4年間全寮制教育～一期生を送り出して ～総合的な人間力と確かな指導力を持つ教師を育成～ 秀明大学 近藤 公一</p> <p>はじめに～一期生の教員採用選考試験の結果から (1) 教員採用選考試験受験率 (2) 中学校教員合格率 (3) 教員採用率</p> <p>1. 望ましい人間形成のための寮生活～豊かな人間性・社会性の養成 (1) 秀明学園の全寮制教育～34年間の実績 (2) 人間関係構築能力の養成 (3) 社会性や行動習慣の確立</p> <p>2. 専門的知識と教養を深める夜間学修～万全の教員採用選考試験対策 (1) 夜間学修の時間割 (2) 3年次の「応用評価演習」 (3) 「学校教師検定」と「公開授業研究会」</p> <p>3. 1年次からの学校現場研修～実践的指導力の養成 (1) 学校現場研修の目的と実施方法～市教委との提携 (2) 現場研修の事前・事後指導 (3) 英国研修～英・独・仏の学校見学 (質疑応答)</p> |